

(記入例)

様式第1 (第7条関係)

当該研究事業年度 公募要項Ⅲ 照会先一覧の区分欄中に下線を付してある研究事業名
平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金 (○○○○ 研究事業) 研究計画書 (新規申請用)
平成 19 年○○月○○日

厚生労働大臣 殿

一部の研究事業については、提出先が別に示されているので注意すること

住所 〒100-0000 東京都○○区幸町 100
フリガナ ヤマダ タロウ 自署又は記名押印
申請者 氏名 山田 太郎 印
生年月日 1950年 1月 1日生

当該研究事業年度 公募要項Ⅲ 照会先一覧の区分欄中に下線を付してある研究事業名
平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金による○○○○○○研究事業を実施したいので次のとおり研究計画書を提出する。
公募要項Ⅴの公募研究課題に付された公募課題番号

研究の目的と成果が分かるか題名とすること。
1. 研究課題名 (公募番号) : ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (10110101)

平成 20 年度中に研究事業を遂行するために必要な経費 (要望額)
2. 当該年度の計画経費 : 金 60,000,000 円也 (間接経費は含まない)

当該年度の実際に研究をする日から当該年度の実際に研究が終了する日を記入すること。
3. 当該年度の研究事業予定期間 : 平成 20 年 6 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日

(3) ← 計画の 1 年目 複数年度にわたる研究の場合に記入すること。なお、その期間は原則として 3 年を限度とする。
4. 申請者及び経理事務担当者

申請者	①所属研究機関	国立厚生労働センター			
	②所属部局	疾病研究部			
	③職名	疾病研究部長			
	④所属研究機関 所在地 連絡先	〒100-0000 東京都○○区幸町 200 Tel:03-3333-1111 Fax: 03-3333-3333 E-Mail: yamada@abcd.go.jp			
	⑤最終卒業校	霞ヶ関大学医学部	⑥学位	医学博士	
	⑦卒業年次	昭和 48 年	⑧専攻科目	感染症内科	
	経理事務担当者	⑨氏名 (フリガナ)	タナカ ハナコ 田中 花子	経理事務に卓越した者を所属機関の長が指名すること。	
⑩連絡先・所属部局・課名		〒100-0000 東京都○○区幸町 200 国立厚生労働センター会計課 Tel: 03-3333-1111(内 200) Fax: 03-3333-3333 E-Mail: tanaka@abcd.go.jp			
⑪研究承諾の有無	有 ・ 無	⑫事務委任の有無	有 ・ 無	⑬利益相反管理機関における管理の有無	有 ・ 無
⑭間接経費の要否	要 (9,000 千円、研究経費の 15%) ・ 否				

書類提出時には、ページを付すこと。
1 「2. 当該年度の計画経費」が 20,000 千円以上の場合、間接経費を要望することができる。

5. 研究組織情報

①研究者名	②分担する研究項目	③最終卒業校・卒業年次・学位及び専攻科目	④所属研究機関及び現在の専門(研究実施場所)	⑤所属研究機関における職名	⑥研究費配分予定額(千円)
山田 太郎	〇〇研究(総括)	霞ヶ関大学医学部、昭和48年卒、医学博士、〇〇科	国立厚生労働センター〇〇科	部長	50,000 10,000
鈴木 花子	臨床研究協力体制の整備	丸の内大学医学部、昭和61年卒、医学博士、〇〇科	丸の内大学難病研究所、〇〇科	助手	

研究協力者の記入は必要ない。

配分予定額を記入、又は「研究代表者一括計上」と記入のこと。

6. 政府研究開発データベース

研究者 I D 及びエフォート

研究者名	生年月日	研究者 I D	エフォート (%)
山田 太郎	19500101	2012300001	20%
鈴木 花子	19551005	2023400002	15%

研究分野及び研究区分

	コード番号	重点研究分野	研究区分
研究主分野	101	ライフサイエンス	ゲノム
研究副分野 1	102	ライフサイエンス	医療・医学
研究副分野 2	104	ライフサイエンス	脳科学
研究副分野 3	105	ライフサイエンス	バイオインフォマティクス

別表1「重点研究分野コード表」より該当するものを選択し、コード番号、重点研究分野、研究区分を記入

研究キーワード

「研究キーワード候補リスト」より該当するものを選択し、コード番号、研究キーワードを記入

	コード番号	研究キーワード
キーワード1	1	遺伝子
キーワード2	2	ゲノム
キーワード3	6	核酸
キーワード4	7	細胞・組織
キーワード5		システム生物学

該当するものがない場合30字以内で独自に記入

研究開発の性格

基礎研究		応用研究	○	開発研究	
------	--	------	---	------	--

基礎研究・応用研究・開発研究いずれに当たるかを記載。

書類提出時には、ページを付すこと。

研究課題名 (公募番号) : **1. と同一の研究課題名及び公募番号を記入すること。**
()

7. 研究の要約

特に当該研究計画と厚生労働行政との関連性に焦点を当てて、**200字以内**で記入すること。

8. 研究の概要

- (1) 「9. 研究の目的、必要性及び特色・独創的な点」から「12. 倫理面への配慮」までの要旨を**1,000字以内**で簡潔に記入すること。
- (2) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と当該事業年度の計画との関係が分かるように記入すること。
- (3) 研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記入又は添付すること。

(流れ図)

9. 研究の目的、必要性及び特色・独創的な点

- (1) 研究の目的、必要性及び特色・独創的な点については、適宜文献を引用しつつ、**1,000字以内**で具体的かつ明確に記入すること。
- (2) 当該研究計画に関して現在までに行った研究等、研究の最終的な目標を達成するのに必要な他の研究計画と、当該研究計画の関係を明確にすること。
- (3) 研究期間内に何をどこまで明らかにするかを明確にすること。
- (4) 当該研究の特色・独創的な点については、国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを踏まえ記入すること。

10. 期待される成果

- 期待される成果については、厚生労働行政の課題との関連性を中心に**400字以内**で記入すること。
当該研究によって直接得られる研究成果だけではなく、間接的に期待される社会的成果（行政及び社会への貢献、国民の保健・医療・福祉の向上等）についても記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

-4-

1 1. 研究計画・方法

- (1) 研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を **1,600字以内**で記入すること。
- (2) 研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者及び研究協力者の具体的な役割を明確にすること。
- (3) 本研究を実施するために使用する研究施設・研究資料・研究フィールドの確保等、現在の研究環境の状況を踏まえて記入すること
- (4) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係が分かるように記入すること。

12. 倫理面への配慮

研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意（インフォームド・コンセント）への対応状況、及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を記入すること。

遵守すべき研究に関する指針等

研究の内容に照らし、遵守しなければならない研究に関する指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「○」を記入すること（複数の指針等が該当する場合は、それぞれの枠内に「○」を記入すること。）。

- ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針
- 疫学研究に関する倫理指針
- 遺伝子治療臨床研究に関する指針
- 臨床研究に関する指針
- ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針
- 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針
- その他の指針等（指針等の名称： _____）

該当する部分に○を付けること。

疫学・生物統計学の専門家の関与の有無	有・無・その他（ _____ ）
臨床研究登録予定の有無	有・無・その他（ _____ ）

該当する項目を選択すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

13. 申請者の研究歴等

申請者の研究歴：

過去に所属した研究機関の履歴、主な共同研究者（又は指導を受けた研究者）、主な研究課題、これまでの研究実績（論文の本数、受賞数、特許の取得数、研究課題の実施を通じた政策提言数（寄与した指針又はガイドライン等））

発表業績等：

著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年（西暦）・巻号（最初と最後のページ）、知的財産権の取得及び申請状況、研究課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）

（発表業績等には、研究代表者及び研究分担者ごとに、それぞれ学術誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去3年間）を選択し、直近年度から順に記入すること。また、この研究に直接関連した論文・著書については、著者氏名の前に「○」を付すこと。）

1 4. 厚生労働科学研究費補助金の各研究推進事業に推薦する予定の研究者

年 度	外国人研究者招へい事業	外国への日本人研究者派遣事業	若手研究者育成活用事業 (リサーチ・レジデント)
平成20年度	1 名	1 名	2 名
平成21年度	1 名	1 名	2 名
平成22年度	1 名	1 名	2 名

平成 21 年度、平成 22 年度は複数年度にあたる研究を行う場合に記入すること。(以下同様)

1 5. 研究に要する経費

内訳については、公募要項VI. 補助金対象経費の単価基準額一覧表を参考にする事。

(1) 各年度別経費内訳

(単位：千円)

年 度	研究経費	内 訳							
		謝金	旅費	備品費	消耗品費	借料及び損料	賃金	その他	委託費
平成20年度									
平成21年度									
平成22年度									
合 計									

(2) 備品の内訳 (50万円以上の備品については、原則として賃借によること。)

ア. 借料及び損料によるもの (賃借による備品についてのみ記入すること。)

年 度	備 品 名	賃 借 の 経 費 (千円)	数 量
平成20年度	単価50万円以上の備品でリース等の賃借契約を行う予定のあるものを記入すること。		
平成21年度			
平成22年度			

書類提出時には、ページを付すこと。

イ. 備品費によるもの（50万円以上の備品であって、賃借が不可能なものについてのみ記入すること。）

年 度	備 品 名	単 価 (単:千円)	数 量
平成20年度	<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px;"> 単価50万円以上の備品でリース等の賃借契約が不可能でありやむを得ず購入する予定のものを記入すること。 </div>		
平成21年度			
平成22年度			

(3) 委託費の内訳

(単位：千円)

年 度	委 託 内 容	委 託 先	委 託 費
平成20年度			
平成21年度			
平成22年度			

書類提出時には、ページを付すこと。

16. 他の研究事業等への申請状況（当該年度）

（単位：千円）

新規・継続	研究事業名	研究課題名	代表・分担等	補助要求額	所管省庁等	エフォート(%)
新規	〇〇研究費	〇〇に関する研究	代表	12,000	文部科学省	20%
	当該年度に申請者が、厚生労働省から交付される研究資金等へ研究費の申請を行おうとしている場合について記載すること。					

17. 研究費補助を受けた過去の実績（過去3年間）

（単位：千円）

年度	研究事業名	研究課題名	補助額	所管省庁等
19年度	〇〇助成金	〇〇〇に関する研究	50,000	文部科学省
19年度	〇〇研究費	〇〇〇に関する研究	15,000	(独) 〇〇機構
年度				
年度				
年度				
年度	直近年度から遡って過去3年間において、申請者が補助を受けた主要な研究事業について記入すること。（分担として実施した者を含む。）			
年度				

18. 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）

第18条第1項の 規定により補助金等の返還が命じられた過去の事業（単位：円）

年度	研究事業名	研究課題名	代表・分担等	補助額	返還額・返還年度	所管省庁等
年度						
年度	平成16年度以降に補助金等の返還が命じられたことがあれば、直近年度から記入すること。					
年度						

書類提出時には、ページを付すこと。